

## ■五泉市公共交通活性化総合プログラム 方向性と施策

## 1. 五泉市の公共交通を取り巻く現状

## ①広く低密な居住域の分散

- ・都市機能が五泉・村松市街地に立地、農村集落が広く分布
- ・6つのJR駅

## ②人口減少と高齢化

- ・S60年人口 62,781人(うち高齢者 8,338人)  
→H17年人口 56,962人(うち高齢者 14,701人)
- ・高齢者のみ世帯 H2年 914 →H17年 2,642
- ・特に市街地中心部や山間集落地での人口減少・高齢化が顕著

## ③公共交通の利便性と利用率の低さ

- ・日常的利用(週1~2回以上)バス3.4%、鉄道6.7%、タクシー1.5%
- ・JR:新津・五泉間 1-2h、路線バス:五泉・村松間 30min-1.5h 間隔

## ④路線バスの経営難、補助金負担増

- ・蒲鉄バスの撤退(H20.9に3路線撤退→市コミュニティバス代替運行)  
(H22.9に全面撤退の可能性あり)
- ・1便当たり輸送人員 5.6人、収益率 36.5%(H19)
- ・補助金 83,336千円【うち市負担 56,561千円】(H19)
- ・初乗り 150円等低額運賃による収益性悪化、今後の維持困難

## ⑤バス委託料等の市負担は 81,422千円(H20 予算)

- ・スクールバス 16,960、福祉バス 1,603、タクシーチケット 13,290、送迎借上 114、保育通園 40,728、幼稚通園 8,727
- ・コミュニティバス約 8,000(H20.10~現在)

## ⑥市内の集人施設駐車場が無料

- ・病院、公共施設、商業施設等の駐車場が全て無料で、公共交通の競争力を低減

## 2. 五泉市の公共交通に関するアンケート結果

(H20.11.17~11.30)

## ■日常的家族送迎世帯 32.7%

目的:通学 39.2%、買物 17.0%、通院 15.7%

## ■バス利用不満点

- 1.運行本数少ない 24
- 2.最終便の時間が早い 14
- 3.運賃高い 10
- 4.雨雪の中で待がづらい 9
- 5.鉄道等との接続が悪い 7

## ■鉄道利用不満点

- 1.運行本数少ない 62
- 2.最終便の時間早い 23
- 3.駅まで遠い 17
- 4.バス等との接続悪い 16
- 5.車内の混雑 14

## ■乗合タクシーについて 「便利と思う」39.2%

連絡希望場所:医療機関 226、市内駅バス停 71、買物場所 40

## 3. 計画検討の課題

- ①人口減少が進む中での公共交通の維持充実
- ②増加する高齢者に対応した優しい公共交通体系の構築
- ③市の財政負担軽減と利用者の利便確保に配慮した地域密着型の交通網の構築
- ④既存インフラとしての鉄軌道の有効利用
- ⑤行政との連携の中で交通事業者が民業として持続可能な公共交通体系
- ⑥地球環境保全の視点からの公共交通への転換促進
- ⑦まちの活性化の視点からの公共交通の検討

## 4. 計画の目標

## 1. 快適な市民の暮らしと地域活力を支える公共交通の整備

- (1)都市サービス機能のある五泉・村松市街地と集落とをスピーディに結ぶ公共交通の整備
- (2)高齢者が安心して利用できる公共交通の整備
- (3)まちの活性化につながる公共交通の仕掛けづくり

快適生活

## 2. 通勤・通学の利便と安心の確保

- (1)県都新潟方面との交通利便性の改善
- (2)毎日安心して通学できる公共交通サービスの提供

安心通い

## 3. 市民と行政の協働による公共交通体系の整備

- (1)公共交通への転換意識の醸成
- (2)住民参加による地域に根ざした公共交通体系の検討

市民協働

## 4. 無駄のない効率的な公共交通体系への転換

- (1)路線バス補助金、委託料等の市財政負担の軽減
- (2)交通事業者が民業として持続可能な交通体系の実現

経費節減

## ■参考:五泉市都市計画マスタープラン(案)

~コンパクトな都市を目指す~  
五泉・村松市街地と集落の連携(公共交通による)

戦略:移動環境の改善(5つの戦略のうちの1つ)

- ・多様な目的に応じた公共交通サービスの充実
- ・集落住民の市街地等への移動サービスの強化
- ・公的バスの運営改善、民間交通との連携
- ・公共交通利用への市民意識の啓発
- ・駅等交通結節点の機能強化

## 5. 施策(案)

## 1. 快適な市民の暮らしと地域活力を支える公共交通の整備

## 施策 1. 市内バス網の再編

- ・路線バス、コミバス、福祉バス、スクールバスの運行形態見直し
- ・例:基幹バスの運行(市役所-五泉駅-南部郷病院-村松駅)
- ・例:デマンド乗合タクシーの運行(集落から基幹バスへ連絡)

## 施策 2. 公共交通に関する情報発信、PR(マップ・ダイヤ市民広報等)

## 施策 3. バス待ち環境の改善(デザイン上屋、風雨よけ)

## 施策 4. 五泉らしい魅力的バスデザインの整備と

愛称(ニックネーム)の命名

## 施策 5. 公共交通利用者へのインセンティブの付与

- ・中心商店街の商業活動との連携施策など

## 2. 通勤・通学の利便と安心の確保

## 施策 6. JR磐越西線又は高速バスの充実

- ・例:高速バス(村松-五泉-新潟都心)の充実
- ・例:JR磐越西線(新津-五泉)の充実

## 施策 7. 五泉駅のターミナル機能の強化

- ・南口広場、乗換案内、待合環境、観光情報発信、コンビニ・公共サービス等コミュニティ機能

## 施策 8. 鉄道駅の機能改善

- ・バリアフリー化、P&R駐車場の拡充

## 3. 市民と行政の協働による公共交通体系の整備

## 施策 9. クルマから公共交通への乗換えに対する市民意識の醸成

- ・自発的行動変容を促すための市民アンケート調査
- ・ノーマイカーデー、シンポジウム、小中学校での学習会

## 施策 10. 公共交通に関する地域住民組織の設立と活動支援

## 4. 無駄のない効率的な公共交通体系への転換

## 施策 11. JR、バス会社、タクシー会社等の連携による「幹から枝まで」の効率的・体系的公共交通システムの構築

## 施策 12. 協賛金や広告収入等による新たな公共交通運行財源の確保